

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 第3アミスター		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達の意見や感想を発達支援プログラムに反映させています。	子ども達がより一層安心して楽しく通所できるように、月に数回、日々の発達支援プログラムの振り返りと子ども達からプログラムに関する要望の聞き取りをおこなっています。	振り返りや聞き取りの内容を子ども達と共有した上で来月の発達支援プログラムの話し合いを設ける事で、より主体的な通所を促しています。
2	職員と1対1の聞き取りの機会を多く設ける事で子どもたち一人ひとりの個性に合った、中・長期的な対応を整えることが出来ました。職員間で共有する事で切れ目のない支援をおこなっています。	過去の出来事について聞き取るだけでなく「これからどうしたいか」「どうなるのが望ましいか」といった子どもたちがポジティブに未来を想像できるような声掛けや問いかけをおこなっています。	職員間で共通した聞き取りの手順やポイントを用意する事でより子どもとの聞き取りの時間と質をより向上させるようにしていきます。
3	子どもたちの得意な分野を発達支援プログラムに取り入れることで自己肯定感や自己有効感を育む機会を設けています。	得意な分野のプログラムに関しては伸び伸びと思考力や運動能力を発揮できる事を念頭にルールや環境づくりをおこなっています。	プログラムの意図を保護者にも分かりやすく伝える機会を増やす事で、より子どもたちの主体的な参加を促すようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	VIDAサロンを開催しましたが、参加人数が少なかったです。	土曜日の開催でしたが家族での時間を優先し、保護者の参加が難しかったようです。	日頃子どもたちが行っている活動、子どもたちと一緒に参加したくなるような企画をしていきます。
2			
3			